

第3次伊勢市総合計画中期基本計画（案）の パブリックコメントの結果概要について

1 実施の概要

(1) 意見募集方法

伊勢市公報、伊勢市ホームページ、伊勢市広報紙、伊勢市行政チャンネル文字放送で周知し、計画（案）をホームページに掲載するとともに、次の場所に備え置き閲覧に供した。

(2) 計画（案）の閲覧場所（20箇所）

- ・市役所（本館1階市民ホール、企画調整課、総務課）
- ・総合支所生活福祉課（二見、小俣、御園）
- ・支所（神社、大湊、浜郷、宮本、豊浜、北浜、城田、四郷、沼木）
- ・市立図書館（伊勢、小俣）
- ・生涯学習センター（いせトピア、二見）
- ・いせ市民活動センター

(3) 意見提出の対象者

伊勢市内に在住、通勤又は通学されている人など

(4) 意見募集の期間

令和4年2月22日（火）～令和4年3月22日（火）

2 意見募集の結果

- ・意見数 10 件（意見人数 6 人）

3 第3次伊勢市総合計画中期基本計画（案）パブリックコメント意見に対する考え方について

NO	課題・分野	資料頁	意見内容	市の考え方	中期基本計画の修正の有無
1	Ⅲ 分野横断課題 ①人口減少・少子化への対応	3	<p>生産年齢人口の増加の必要性和施策 高齢化率を減少させるためには、人口を増加、特に子育て世帯の多い生産年齢人口の増加を如何に推進するかが鍵になると思います。 子育て世帯の流入を誘致する施策を提言します。 1 起業を有利にする環境の構築 シンガポールを例にすると、インフラの充実、法人税の優遇、住環境の充実などが挙げられます。市は、大企業の製造拠点を誘致するにも土地がありません。 そのため、デジタル化社会の発展に伴う小規模施設でも営業可能な企業を誘致するための、インフラ・税制・従業員の住環境整備を推進します。 2 中京大都市圏の衛星都市としての条件整備 給与水準の高い大都市で就職活動をする子育て世代が、居住地として選ぶ好条件を整備します。中心市街地の再開発において、安価な土地の提供、高品質の借家提供（空き家のリニューアル補助を含む）、通勤の利便性向上、学校及び商業施設の充実などを推進します。</p>	<p>人口減少・少子化への対応は喫緊の課題であり、ご指摘のように特に若い世代への働きかけが重要であると考えています。 若い世代が住みたい・住み続けたいと思うまちづくりを進めるため、Ⅲ分野横断課題の①「人口減少・少子化への対応」やⅣ分野別計画の分野6「産業・経済」施策4「就労・雇用」に記載のとおり、安定した雇用の確保に向けた各取組を進めてまいります。 また、「Ⅳ分野別計画」の分野7「都市基盤」施策1「土地利用」に記載のとおり、中心市街地の活性化を図るため、交通結節点機能の高い伊勢市駅前の市街地再開発事業に取り組み、都市機能の集積と子育て世代の居住環境を整備します。 各取組の推進にあたっては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>	無
2	Ⅲ 分野横断課題 ①人口減少・少子化への対応 ②超高齢社会への対応	3	<p>子育てしやすい街になるために、歩道を整備していただきたいです。 1歳の子どもを育てていますが、現状伊勢市は、ベビーカーを押して移動することが難しく、また今後、子どもを通学させるのにも不安を感じています。 ながら運転や高齢ドライバーが増える今日、歩道もなく交通量も多い道を、毎日歩かせたり自転車に乗らせたりすることに抵抗を感じてしまいます。 高齢の方にとっても、歩道がない道を歩いて買い物等に出掛けるのは、困難があるかと思っています。 また歩道の整備は街の景観にも関係すると思うので、景観が整えば、新しい世帯の移住にもつながるのではないのでしょうか。 伊勢市は交通量の割に歩道が整備されていないように感じるので、子育て世代のためにも、高齢者のためにも今後整備していただきたいです。 基本計画の具体的な内容からは少し外れてしまいますが、是非お願いいたく意見させていただきました。</p>	<p>「Ⅳ分野別計画」の分野7「都市基盤」施策2「道路・公園」に記載のとおり、歩道を含めた道路等の整備については、膨大な費用と整備期間を要することから、計画的・効率的に進める必要があると考えています。 歩道のない道路につきましては、通学路や危険箇所の安全対策を優先的に行い、安全で安心な道路整備に努めてまいります。</p>	無
3	Ⅲ 分野横断課題 ③新しい地域のつながりづくり	4	<p>四郷地区コミュニティセンター地域交流室では、来年度から地域住民に特技、資格、趣味、関心事などを登録していただき、グループづくりを推進し、共通の趣味等を通じて世代間の交流を図り、見守りや支え合い、繋がり再生・強化を図ろうと考えています。</p>	<p>「Ⅳ分野別計画」の分野1「自治・人権・文化」施策1「地域コミュニティ」に記載のとおり、地域コミュニティにおいて、地域を支える人材の確保・育成、活動の継続・活性化が喫緊の課題となっております。そのような中で、地域の方々得意分野や専門性などを活かし、分野や世代を超えて地域活動に主体的に取り組んでいただいていることは、大変重要なことであるとと考えています。</p>	無

NO	課題・分野	資料頁	意見内容	市の考え方	中期基本計画の修正の有無
4	Ⅲ 分野横断課題 ③新しい地域のつながりづくり ⑤デジタル技術の活用	4～5	<p>2 地域のつながりづくり施策 地域のコミュニケーション推進のための施策について提言</p> <p>(1) 地域内の人間関係の深化 人が集まる→会話が生まれる→問題や情報の共有化→共同・協働の機運上昇→協働を通して絆が深まる→良き人間関係の醸成→堅固な地域社会へ発展</p> <p>現在は、第1歩の「人が集まる」環境が貧弱です。そのため、集まりやすく利用しやすい施設を整備します。厳しい予算内ですが、老朽した公民館等の建て替えをします。この際、国及び県の交付金・助成金を最大限活用する。</p> <p>例えば、防衛省の基地対策費について、担当者が対面して要望する努力求められます。</p> <p>(2) デジタル技術を活用したコミュニティツールの整備 市内には、大手企業と連携して、戸別設置型デジタル端末を提供する企業が存在します。行政と高齢者との双方向性情報端末として活用することを提言します。 「デジタル先進都市・伊勢」を宣言しましょう。</p>	<p>(1) 地域内の人間関係の深化 ご指摘のとおり、特にコロナ以降、人が集う機会が減っている現状があります。「IV分野別計画」の分野1「自治・人権・文化」施策1「地域コミュニティ」に記載のとおり、今後、地域の活動においては、コミュニケーション機会の充実やデジタル等を活用した新たな仕組みづくりが重要であると考えています。</p> <p>また、公民館等の建て替え等の施設整備に際しては、自治会を対象とした「伊勢市自治会集会所建設等補助金」制度等を実施しています。今後も、財源の確保に努めながら、地域活動の促進を図る取組を進めてまいります。</p> <p>(2) デジタル技術を活用したコミュニティツールの整備 「Ⅲ分野横断課題」の③「新しい地域のつながりづくり」に記載のとおり、デジタル活用等による多様な参画機会を創出します。</p> <p>また、⑤「デジタル技術の活用」にも記載のとおり、デジタルの活用による暮らしやすいまちづくりを進めるため、下位計画である「伊勢市デジタル行政推進ビジョン」のもと、各取組を進めています。ご提言については、参考として承ります。</p> <p>宣言については、令和3年度に市内の様々な団体と産官学民が連携してデジタル化を推進するための協議会を設立し、スマートシティ推進宣言を行いました。</p> <p>引き続き、デジタルを活用し、市民の皆様がより便利で快適な暮らしをしていただけるよう取り組んでまいります。</p>	無
5	Ⅲ 分野横断課題 SDGsの推進	7	<p>水辺の楽校のような、キャンプやたき火の出来る場所が近くに欲しいです。朝熊山麓公園の辺り、川辺に出来ないでしょうか？朝熊山と五十鈴川の伊勢らしい自然環境があります。防災にも役立つと思います。外で遊ぶことで、様々な人のつながりも出来ると思います。川を見ることで、水の汚れや魚を見、環境問題を感じることも出来ると思います。小学校が近くに出来るので、子供達に身近な場所でSDGsを考える場所になって欲しいです。</p>	<p>「IV分野別計画」の分野3「環境」施策3「環境教育」に記載のとおり、幼少期から実践体験を通して、環境意識を形成することは、重要なことと考えています。川辺に面している公園は市内にいくつありますが、河川敷地内は洪水時の安全確保が必要となりますことから、河川管理者等と協議を行いながら、身近で自然環境に触れていただける環境づくりを検討してまいりたいと考えています。</p>	無
6	Ⅳ 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	10	<p>市民の価値観は多様化しており、新型コロナウイルスの影響等で働き方も多様化・変化していることから、文化芸術活動に対しては多様な視点から取り組む必要があります。また、文化施設への来館者数が減少傾向にあることは前述のことに加え、企画が市民のニーズ（知りたいこと）と齟齬をきたしているのではないかと。住民の関心に常に敏感にならないといけないのではないかと思います。</p> <p>郷土資料館について総合的に歴史を紹介するとありますが、それでは伊勢神宮、お蔭参り等が中核となり地域性が乏しくなってしまうのではないのでしょうか、現在各地にある資料館等の内容を充実させ、時間をかけて回るようなシステムにした方が、地域の特性を実感できるし、滞留の時間も長くなり、商店街等への波及効果も期待できるのではないかと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり市民の価値観は多様化しており、文化芸術や博物館施設に求められる役割は重要性が増しているものと認識しています。</p> <p>分野1「自治・人権・文化」施策5「文化」に記載のとおり、郷土資料館については、伊勢市の歴史を総合的に紹介する施設としての整備を検討しています。既存の施設については、特定の地域、時代、人物等についてより理解を深めてもらうための施設として、双方間に誘導できるような連携が必要であると考えています。</p> <p>文化施策の推進にあたっては、いただいたご意見を参考としながら、アンケート調査等での市民ニーズの把握や行政他分野との連携等に努め、より多くの市民が享受できるような努めてまいります。</p>	無

NO	課題・分野	資料頁	意見内容	市の考え方	中期基本計画の修正の有無
7	IV 分野別計画 分野1 自治・人権・文化 施策5 文化	10	<p>1. 一文が長く理解しにくいいため、以下の下線部分のように修正を希望します。 「歴史的・文化的資産である文化財は、その性質上脆弱なものが多いことから、これらを現在に活かし、未来に伝えていくため、必要な調査・修理・整備を行います。」 (略) これら文化財を次世代へ継承するためには、文化財の価値に対する市民の理解が不可欠です。理解を得るための有効な政策を、まちづくりや観光、学校教育等の他分野とも適切に連携をし、総合的に進めていきます。」</p> <p>2. 下から3行目「文化施設」について漠然としていてどの施設かわかりにくいです。もし市立の歴史資料館(4か所)を指しているのであれば、列挙しなくても、文化施設(歴史資料館)という様にかっこ書きでも良いので記載してください。歴史資料館を指しているなら次の文にうまく繋がります。つまり、既存の文化施設は来館者が減少傾向にあり、もっと利用者が増えるように関心を引く企画展を行い利用者を増やす取組を行うとあります。しかし特定のテーマの施設(4か所)では企画に制限があり、自由に魅力的な企画を行うことは難しいです。そこで、伊勢市の歴史を総合的に紹介する郷土資料館(博物館)の整備が不可欠ということになります。</p> <p>3. 最終行の文言について以下の下線部分のように修正をお願いします。 「また、当市の歴史を総合的に紹介する郷土資料館の整備を行います。」 歴史遺産である文化財を適切に管理して残すことは未来への投資と考えます。中心となる施設が必要です。伊勢の歴史を学べば伊勢が特別な地であり、各時代の権力者や朝廷とのつながりを示す多くの史料があることがわかります。展示企画には困りません。 市民が「シビックプライド」を持って、伊勢を訪れる人を案内しPRできる場を早急に整備していただくことを希望します。</p>	<p>1. ご指摘のとおり修正します。 2. ご指摘のとおり修正します。 3. 現時点では場所や時期等が未定であるため、「整備を進めます」という表現に変えて修正します。</p>	有
8	IV 分野別計画 分野2 教育 施策2 社会教育	13	<p>施策案のキーワードは「人生100年時代」「豊かな人生」「持続可能な社会」「生涯」「主体的に学び続ける」です。そしてそのための「環境づくりが重要である」とあります。では、具体的にその環境とは何かと考えたら、図書館に行き着きます。主体的な学びを支え、学ぶ時に核となるのは図書館です。例えば、学ぶ意欲のある市民が、様々な講座や通信教育課程の大学等の課題を調べたりレポートを書くための資料を探す時、頼りにするのが地域の図書館です。図書館を見ればその地域の文化のレベルがわかると言われています。学ぶことは生きることです。地域の図書館には、市民の学びを育て、支援する役割があります。</p> <p>以上のことから、下線部分のように修正を希望します。</p> <p>人生100年時代を見据え、一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会を実現するため、すべての人が生涯にわたり、主体的に学び続けることのできる環境づくりが重要です。その環境づくりの一環である図書館を継続して整備し、主体的な学びを支援するため、蔵書の充実とサービス向上に努めます。また、学びを通じた住民相互のつながりを深めることで、地域の課題に向き合いながら暮らしの向上と社会の持続的発展に向けた「地域課題解決のための学び」の推進が求められています。</p>	<p>生涯学習社会を実現する上で、図書館が重要な役割を果たすことについてはご指摘のとおりであり、学習環境を構成する重要な拠点と認識しています。図書館に関する「今後の方向性」について、下記のように追記いたします。</p> <p>(下線部追記箇所) 人生100年時代を見据え、一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会を実現するため、すべての人が生涯にわたり、主体的に学び続けることのできる環境づくりが重要です。特に、学びを通じた住民相互のつながりを深めることで、地域の課題に向き合いながら暮らしの向上と社会の持続的発展に向けた「地域課題解決のための学び」の推進が求められています。</p> <p>～(省略)～ このため、魅力ある講座の開催等の学習機会の充実やICT等も活用した学習環境の充実、主体的な学びを支えるための図書館の整備、また、家庭教育をテーマにした講座の開催や地縁団体等との連携による地域学習機会の創出等に取り組みます。</p>	有

NO	課題・分野	資料頁	意見内容	市の考え方	中期基本計画の修正の有無
9	IV 分野別計画 分野7 都市基盤 施策7 下水道	27	<p>下水道の整備に関して、整備済みまたは整備が進んでいる場所と、未定の場所があります。場所による特性上差が生じるのは仕方ないですが、多大な格差がある現状に、整備が遅れている地域住民の間では不満が募っています。</p> <p>側溝掃除の負担も年々増大している中、一日も早い対応をお願いします。</p>	<p>下水道の整備については、「IV分野別計画」の分野7「都市基盤」施策7「下水道」に記載のとおり、計画的に進めているところです。現在、全体計画区域のうち第5期事業計画区域を進めており、令和7年度末に約65%の下水道普及率を目標として整備を進めていますが、未だ全国平均に比べ低い状況です。</p> <p>今後も、市民の皆様の快適できれいな生活環境を実現するため、整備推進に努めてまいります。</p>	無
10	IV 分野別計画 分野8 市役所運営 施策2 行政組織力	31	<p>我が国は、資源の少ない国家でありながら、戦後、高度成長を果たすことができました。成長の原動力は、「人による生産性」すなわち、他国よりも低賃金を我慢して、勤勉・努力と長時間労働でした。現代政治・社会は、「ライフ・ワークバランス」、「就労時間の適正」を掲げていますが、私たち昭和の人間は国家の将来を憂い、「他国に負けまい」との思いで1日12時間は仕事に励みました。国の行政機関でもパソコン・プリンタが職場に配置されていなかったため、自費で数十万円のパソコンを購入し、かつ幾度となく更新して仕事の効率化を図っていました。「住民が不便・困窮で喘いでいる」状況の中で、安定した収入が保証されている公務員は、ややもすると非難的に曝されることになるかもしれません。そのような”非難的”に成らぬよう、組織力に裏づけされた活動に期待が高まっています。</p>	<p>人口減少時代を迎える中で、持続的成長を維持し、社会の活力を維持するためには、「女性活躍」に代表されるようにすべての人が力を発揮できる社会の実現が求められており、そのための環境整備が必要であると考えています。</p> <p>組織としてマンパワーを維持し、安定的に行政サービスを提供していくため、「IV分野別計画」の分野8「市役所運営」施策2「行政組織力」に記載のとおり、職員育成、組織力強化に努めるとともに、多様な働き方に対応した職場環境の整備等に取り組んでまいります。</p>	無